



# 全教北九州

「新聞 全教北九州」  
 全教北九州市教職員組合  
 発行責任者 中村賢太郎  
 2018.9.28

ホームページ:検索 **全教北九州** 人事委員会職員給与勧告特集 この新聞はすべての教職員に配布しています

**本年度人事委員会勧告**  
 \* 月例給は据え置き、  
 \* ボーナスは0.05カ月分の引き上げ

今年も生活改善には、  
 政令市・県人勧 比較表

ほど遠い低額勧告！

市人事委員会人勧の概要

月例給は据え置き  
 ボーナスは引き上げの勧告  
 教育職は給料表の改定

本年度の北九州市人事委員会「職員の給与等に関する報告及び勧告」では、月例給の改定は見送られ、ボーナスは、0.05か月分を勤勉手当に配分する内容の勧告を行いました。また、教育職については、給料表の改定が勧告されました。勧告を受け、ボーナスは昨年の年間支給月数4.40月が4.45月となり、4月に遡り支給される予定です。また、教育職給料表の改正で若干の改善も見込まれます。

	福岡市	福岡県	北九州市
月例給	月例給を0.09%引上げ。	民間較差を埋めるため、俸給表の改定で解消。	月例給の引き上げは行わない。ただし、教育職は、給料表の改定を必要。
ボーナス	0.05月分引上げ、4.45月を支給。	0.1分引上げ、4.45月を支給。	0.05月分引上げ、4.45月を支給。
地域手当(支給)	改定なし。現行の <b>10%</b> を支給。	0.03%引上げて <b>4.63%</b> 支給	改定なし。現行の <b>3%</b> を支給。

福岡県は、地域手当を今年度引上げ、福岡市は、以前から10%を支給しています。

月例給は、福岡市、福岡県とも、改定による引上げを行う予定です。北九州市も教育職は給料表の改定で月例給を引上げる予定になっていきます。

待遇改善・人材確保のための大幅な賃上げは必須！

今年度は、ボーナスと給料表改定により若干の賃上げが見込まれます。しかし、福岡市や福岡県のそれと比較すると見劣りのする勧告です。全教北九州は、昨年度の給与改定交渉にて、長時間過密労働に見合う給与の実現するため、月例給の12%引上げを要求し交渉しました。本年度も同様の要求を出しています。また、地域手当が、北九州市はあまりに低すぎです。福岡県は、今後段階的に地域手当を上げていく予定です。



す。このままでは北九州市の周辺の自治体教職員との賃金格差が広がるばかりです。教育委員会との交渉では、人材確保の観点からも賃金問題を議題にあげてきました。

第一線で働く教職員のモチベーションを上げる待遇改善を！  
 権限移譲で賃金だけでなく、休暇制度など、これまで当たり前に使ってきた権利が後退しました。

「働き方改革」「ライフワーク・バランスの推進」など耳障りのいい言葉が聴こえてきますが、学校現場は、小学校英語や道徳の教科化、学力・体力テスト体制のなかでの点数競争など多忙に拍車がかかっています。

安心して子育てができるように「子育て支援休暇」の回復や病気に安心して治療ができるように病気休暇の拡充など、働きやすい職場の実現で「北九州の教職員でよかった」と言える待遇の改善、働く環境の整備を教育委員会には強く要求していきます。

※本年度の「給与改定交渉」組合要求書は、ホームページに掲載されています。

# 「全日本教職員組合調査結果から」

## 学力テストの点数競争が教育をゆがめている

全教は9月13日、「全国学力テスト」の実態調査結果を発表しました。全国4割の学校で、過去問や学力テストを想定した宿題などの事前指導が行われている実態を明らかにしました。

全国では4割が事前対策を実施、

過熱する点数獲得競争！

事前に特別な指導を行ったが44%、行っていないが50%で、小学校では52%の学校が事前指導を行っていました。指導内容は、「過去問指導」が最多で72%、次に「学テを想定した宿題」で、続いて「学テを想定した授業や予想問題の実施」でした。

北九州の学テ対策は

全国の取組と比較しても異常！

北九州にいと全国すべてで北九州のような取組が行われているかと思いがちです。しかし、全国ではそこまで学力テスト対策で過去問をしたり、出題想定問題を解いたりしていないのが、今回の調査結果で分かりました。これは、福岡県の郡部でも同様の傾向です。

北九州のように教育委員会の締め付けで学テ対策を取り組まざるを得ない自治体・学校は多くはないのです。

### 教育課程や教育活動に

大きなゆがみも！

調査では、教育課程や教育活動への影響について、「実施する教科の授業進度や学習単元の順を変更」「実施する教科の授業時数を増やした」「出題傾向にそって事前指導をした」等、テストの実施教科に授業が偏重するなどのゆがみをもたらしています。

北九州でも、異常な多忙化のなかで、過去問や出題傾向問題等の実施だけでなく、最近では自校採点も押しつけられています。

劣等感や重圧で

子ども・教職員に大きな負担に！

自由記述では、子どもや教職員が競争に追い立てられている実態や、授業づくり（教材研究）に支障が出ている実態が書かれています。北九州は、教員の長時間過密労働が問題になっていますが、学力・体力テスト体制が教員の超勤の原因・精神的重圧となっていることは、組合の「働き方アンケート」の結果などからも証明されています。

学テの実施と学校ごとの結果の公表は、本来の学力とは無縁の点数獲得競争に子どもと教職員を駆り立て、教育をゆがめる大きな要因で看過できません。

職場でも、学力テストの在り方については、私たちの働き方とも関連させて、議論が必要になっていきます。

### 中四九7work臨時教職員問題学習交流集会 in 北九州のご案内

中国四九州の各県から仲間が集まって、臨時的任用教職員の任用・賃金・待遇、2020年度から実施される「会計年度任用職員」制度、採用試験制度や日々の業務などについて、語り合いながら学習します。

日時：2019年1月26日（土）13：30～27日（日）11：50  
 会場：小倉魚町センタービル4階 リファレンス小倉（北九州市小倉北区魚町1丁目4-21）  
 内容：1日目 講演会「教育に臨時はいない！」講師：今谷賢治さん（前全日本教職員組合副委員長）  
 お楽しみ講座「消しゴムハンコをつくろう」・夜は居酒屋で交流会  
 2日目 学習会&しゃべり場（A 採用試験制度、B 待遇改善へのとりくみ）・閉会集会

- 費用：○参加費1000円（1日みの参加も同様）  
 ○消しゴムはんこ材料費200円  
 ○交流会参加費5000円  
 ※お子様を同伴される場合は、ご相談ください。  
 ※宿泊は各自お取りください。

- 知は力！ 解決の糸口にしよう  
 ○採用試験の年齢制限制度の廃止  
 ○臨時採用で採用試験の1次が免除の廃止  
 ○臨時教職員も教諭発令の廃止  
 ○臨時教職員の給料表上開制度の廃止  
 ○臨時教職員の空白の1日がなくなった廃止



協賛の駐車場は、小倉駅北の方角にいくつもありません。または宿泊先のホテルにご相談ください。

どなたでも参加できます。お待ちしています。

事務局：全教北九州教職員組合  
 〒810-0801 北九州市小倉北区魚町1丁目4番9-208  
 TEL 093(280)4776 FAX 093(280)7848  
 MAIL kirakiva@1netaducan.jp

### あなたも参加してみませんか！

### 北九州子どもと教育のために手をつなぐ会 秋の共育集会 共催 全教北九州

「学力テストは誰のため!? 何のため!?!」

日時：11月18日（日）13：00～15：40  
 会場：戸畑生涯学習センター（予定） 資料料：500円

全国学力・学習状況調査、通称「全国一斉学力テスト」をご存じでしょうか？小学6年生、中学3年生に対して、年に一回4月に行われるテストのことです。北九州市の平均点が上がったとか下がったとか新聞で報道されますが、通算、学校からの詳しい説明はありません。調査対象年のお子さんをもち保護者の方でも、詳しくご存じでない方も多いと思います。そこで、現場の先生と保護者を、問題提起とパネリストに迎えて、「そもそも学力ってどんなこと」「学力テストでわかること」「テストの結果で不安に思うこと」などについて一緒に語り合い、考えてみませんか。

- タイムスケジュール
- 13:00 開会あいさつ 問題提起 パネリスト発言 質疑応答
  - 14:30 休憩
  - 14:40 フロア発言 (参加の皆さんから、気になることなどを自由に発言)
  - 15:30 まとめ
  - 15:40 閉会あいさつ

問題提起：坂垣賢二さん  
 ○北九州市立小学校教諭  
 ○九州地区数学教育協議会委員長  
 子どもたちと向き合った授業で、教員を次々に考案し、全国各地で授業実践や算数、数学の理論講座などを、活発に行っておられます。学力テストについての考案も的確です。

パネリスト：小学校の保護者  
 中学校の保護者  
 現場の先生

連絡・お問い合わせ  
 TEL 090-7382-2240 (江藤)

